

下手の横好き

会長 菊池 智義 (S61年度卒)

3月11日の地震の影響で、電車が動かなくなりました。

私はその当時、盛岡まで通勤していたんですが、その時の事情で「電車が復旧するまでは近隣のホテルから仕事場まで通勤する」事となったのです。

そのホテルで目を覚ましたある朝、ブラインドを閉め切り真っ暗な部屋で、朦朧とした意識のままその締め切ったブラインドを開けようとベッドの上を立ち膝で立ち上がり、手を伸ばしたその先に……。ブラインドはありませんでした。(単に空振りしただけな訳ですが)そして、そのまま体は倒れ込み、上唇を窓枠の角にしたたかぶつけてしまった訳です。

ぶつけた瞬間「やべ〜ラッパ吹けねえ〜」という危機感。果たしてそれは、ほぼ現実のものとなってしまいました。

この間“現役・OB合同演奏”の練習でも、正直あまり吹けない感じで非常に残念な状態で始まり、終わってしまった感じで。特に「スペードのマンボ」では、トロンボーンのエニゾン部分が“fff”の筈なのに、“mf”がやっとなんかという状態でカナリガックリでした。

改めて、自分にとって「下手の横好きであろうとも、トロンボーンを吹くって事は本当に大事な事」であると再確認しました。

OB 会員今日の頃

◆ 菊池 静男 様 (S42年度卒)

お寺や病院など、ボランティアでギターを弾いています。

12月25日14:00から、北上さくらホール(中)で弟とギターコンサートを行います。もちろん入場無料です。

◆ 及川 民男 様 (S43年度卒)

宮城も震災になり、沿岸部は大変です。我が家は山沿いなので何もなかったのですが、ライフラインは暫く止まりました。私は相変わらずビックバンド・スウィングハートオーケストラで現役で吹いています。仕事は高校の警備員ですが、とある高校では吹奏楽部を指導しています。(宮城県黒川郡在住)

◆ 伊藤 三郎 様 (S50年度卒)

7月1日付けで出向から戻り、生活パターン模索中です。

現役の皆さんにはぜひがんばってほしいです。

◆ 伊藤 真由美 様 (S56年度卒)

近くにいなながら定演にもなかなか伺えずご無沙汰しています。卒業してから30年……。はやいものです。本人はこの間のような気持ちなのですが……。

◆ 野坂 禎子 様 (S57年度卒)

皆様無事でしたか？

こちらは自宅も職場も海から離れているのですが、3・11からの1週間程はどうやって過ごしていたのか思い出せない程です……。 (仙台市若林区在住)

新入会員紹介

パート	名 前
F l	若原 優希
F l	及川 由貴
C l	高橋 亜希
C l	志村 江梨香
B. C l	大崎 裕
A. S a x	阿部 姫璃依
B r. S a x	及川 詩織
T r p	紺野 聖梨香
T r p	佐藤 琴美

パート	名 前
H r	小野寺 久美
T r b	千葉 美咲
E u p h	大友 和美
E u p h	川坂 頼季
T u b a	大内 慶子
P e r c.	遠藤 亜紀穂
P e r c.	佐々木 杏梨
P e r c.	菊地 愛瑠

県南地区大会での演奏を聴いて……。

千葉 幸久 (S50年度卒)

県南地区大会での岩高の演奏は、良く言えば全体的に柔らかく素直な音だったように感じましたが、出場校中最少人数というハンディキャップを考慮しても音量が足りないように思いました。したがってダイナミクスの幅が狭く曲中を通して変化のない演奏になってしまったように思います。また演奏者全員に楽曲に対する共通理解が足りませんでした。何故ここはスタッカートなのか？何故ここはクレッシェンドなのか？もう少しスコアをアナリーゼすべきだったと思います。特に自由曲のマゼランは場面変化に富んだ曲なので、深読みし共通のイメージを持って取り組んでほしかったと思います。またハーモニーパートのピッチが悪いところが多々あったのが残念でした。

さて来年に向けての提言ですが、まず基礎練習を儀式的にやらず目的意識を持ってやる事。特に基礎合奏は全員が共通の目的意識を持って取り組めばバンドのサウンドは劇的に変わると思います。また楽器を使わない練習、例えばブレストレーニングは大事ですが、それをどう吹奏に生かすかというプロセスを考えて欲しいと思います。

あとはお金をかける事です。一関の高校はプロの先生に指導を仰いでいますよ。そういえば岩高には父母会がありましたっけ？資金面では必要かも。まだまだ提言はありますが、今回はこの辺で。